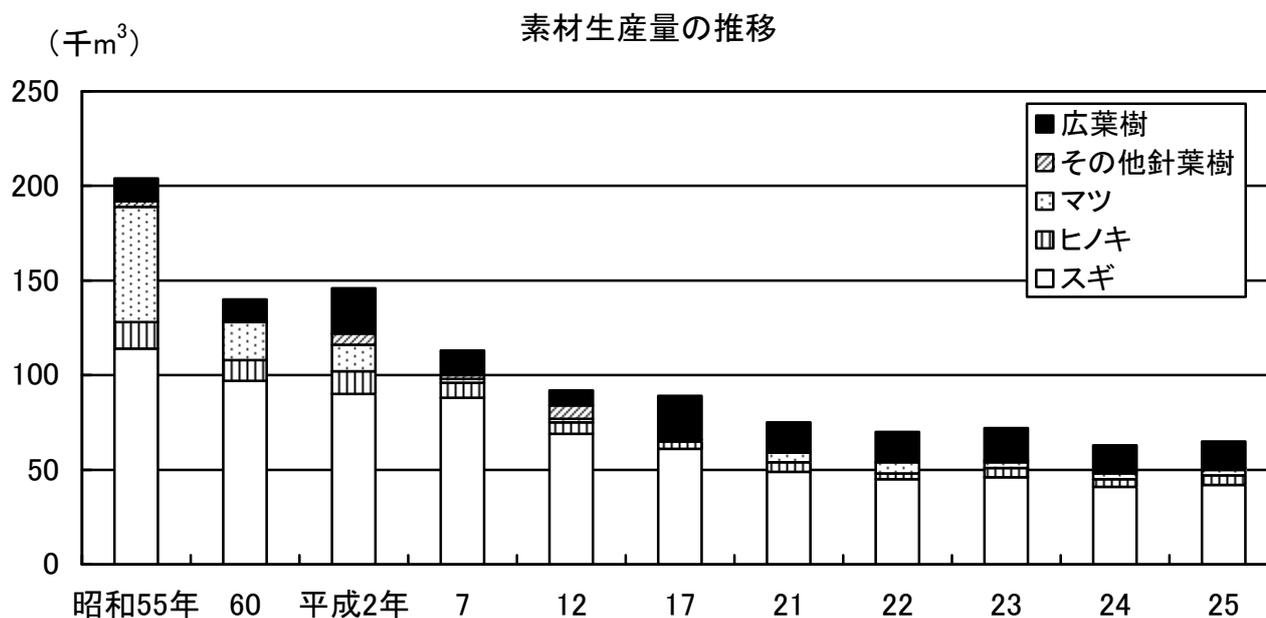
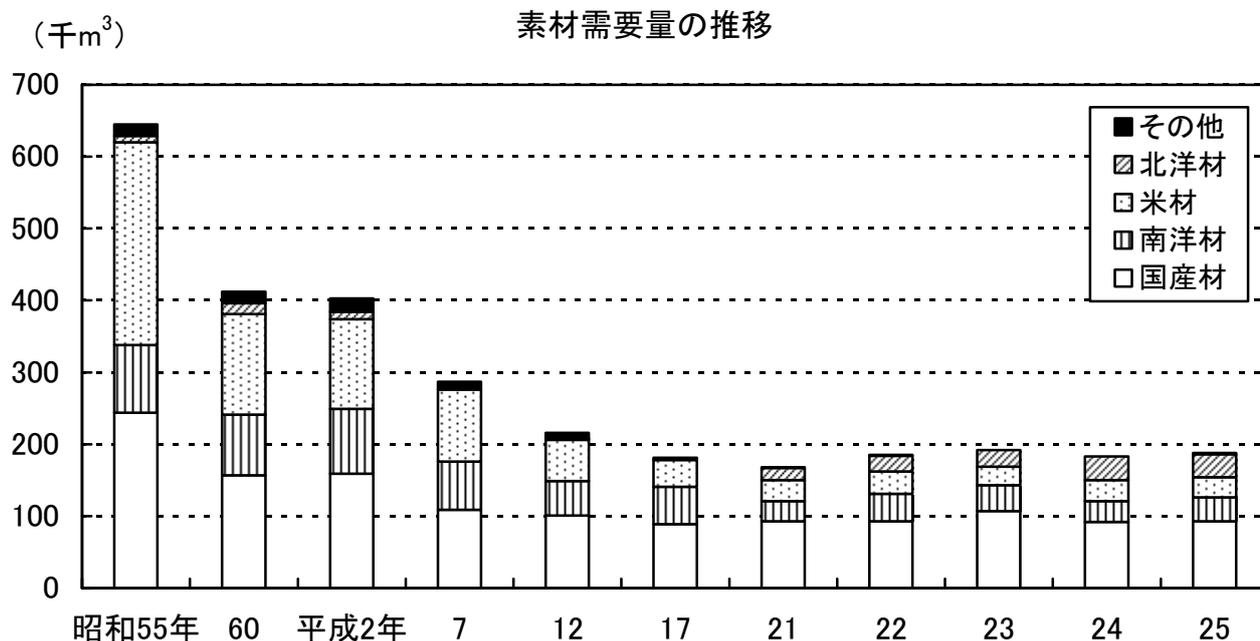


5. 林産物の需給

(1) 木材の需給



平成25年の素材需要量は前年より5千 m^3 増加し188千 m^3 であった。このうち国産材は93千 m^3 、輸入材は95千 m^3 であった。

輸入材のうち、南洋材が35%、米材が29%、北洋材が34%である。

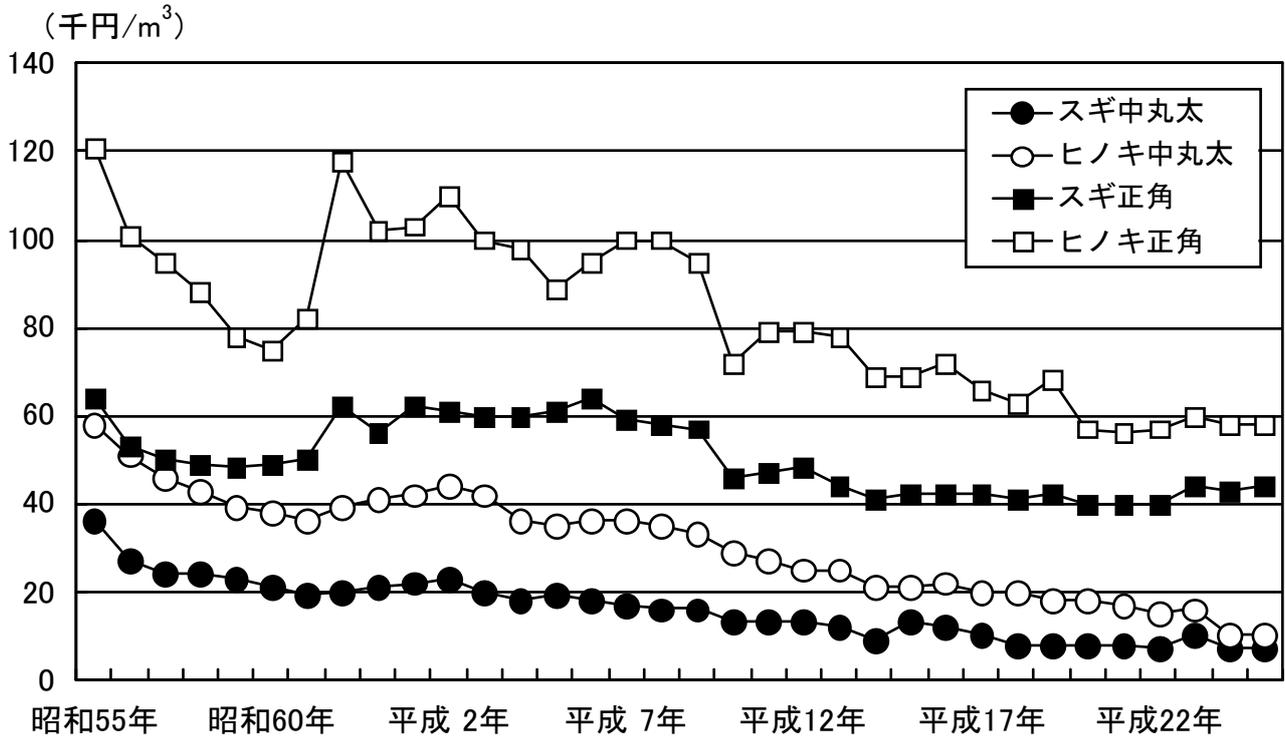
県内素材生産量は、前年より2千 m^3 増加し65千 m^3 で、樹種別ではスギ42千 m^3 、ヒノキ5千 m^3 、マツ3千 m^3 、その他針葉樹1千 m^3 、広葉樹が14千 m^3 となっている。

県内の素材生産を所有形態別にみると、国有林で3千 m^3 、民有林は前年より2千 m^3 増加し、62千 m^3 であった。

県内の製材工場への素材の入荷量は71千 m^3 、製材品出荷量は47千 m^3 となっている。

(2) 木材価格

木材価格の推移



昭和55年をピークに低迷を続けていた木材価格は、昭和62年から平成2年にかけて好調な住宅建設に支えられて緩やかに上昇したものの、平成2年の後半から円高による外材の大量入荷が続き低下した。

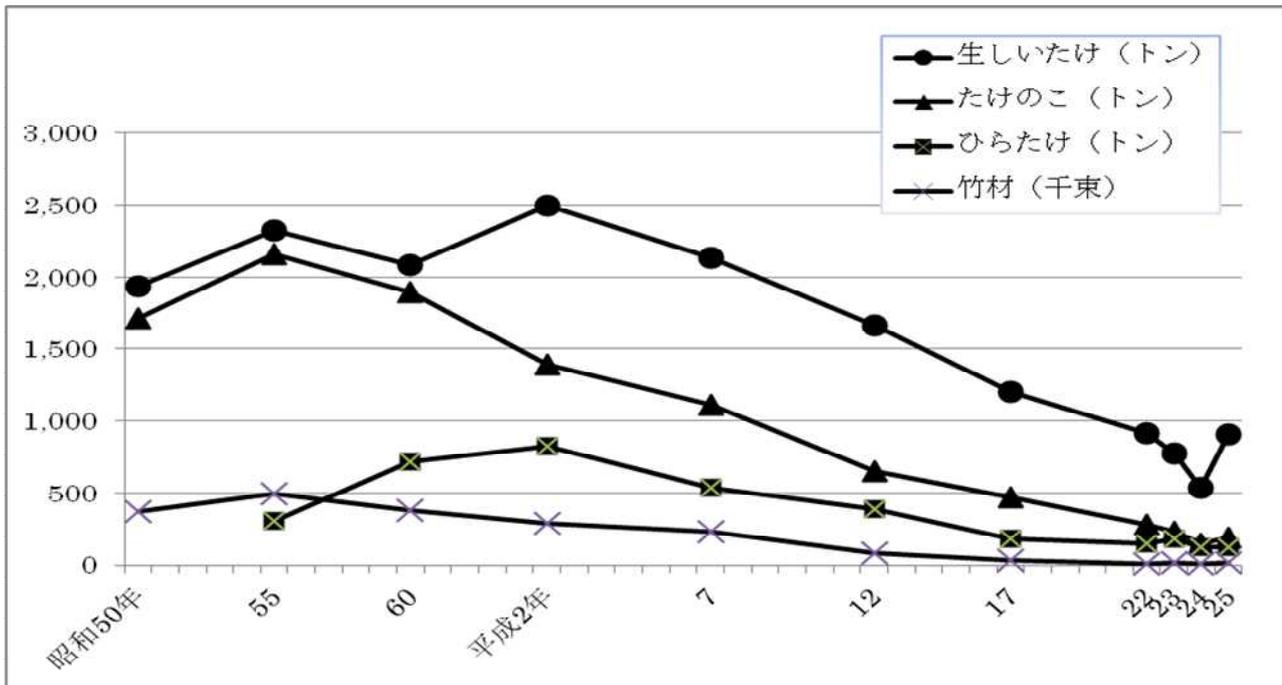
平成3年以降も景気の後退により低下傾向が続き、平成7～8年にやや持ち直したものの、平成10年には再び下落、以降低迷している。

平成25年の素材の平均価格は、スギ中丸太が6,708円/m³で前年から584円下落、ヒノキ中丸太が10,042円/m³で前年から333円下落している。

製材品は、スギ正角(10.5cm角、長さ3.0m)が43,667円/m³で前年から584円上昇、ヒノキ正角(10.5cm角、長さ4.0m)が58,000円/m³で250円下落している。

(3) 特用林産物の需給

主要特用林産物生産量の推移



本県の特用林産物の生産量は、生しいたけが最も多い。

一方、生産量の推移は、平成55～平成2年の間にピークを迎えたが、以降は減少傾向にあった。

そのような状況下で、平成23年3月11日に発生した福島第一原子力発電所の事故の影響により、原木しいたけ（原木栽培）、原木しいたけ（施設栽培）、たけのこが平成24年3月31日以前は暫定基準値（500Bq/kg）、平成24年4月1日以降は基準値（100Bq/kg）を超過し、一部、市町村で出荷制限が出されたこと、当面の指標値（50Bq/kg）を超えるしいたけ原木・ほだ木は出荷用には使用できなくなったこと、生しいたけ（H23:895円→H24:811円/kg）、たけのこ（H23:334円/kg→H24:188円/kg）の単価が下落したことなどにより、これらの産品は平成24年生産量が急落した。

その後、生しいたけの平成25年生産量は急回復しているが、出荷管理の徹底を図るなどした結果、把握量が増えたことが主因であり、単価は持ち直して（H24:811円→H25:862円/kg）いるものの、しいたけ原木の伏せ込み量は減少（H22:547千本→H23:477千本→H24:289千本→H25:254千本）していることから、今後、生しいたけの生産量は減少していくものと思われる。

一方、生産工程における放射性物質低減対策の取り組みにより、原木しいたけ（原木栽培）及び原木しいたけ（施設栽培）が平成26年3月19日に1市で各1名の生産者に限り出荷制限が解除されており、他の生産者への普及指導により、出荷制限解除生産者の増加が期待される。

また、たけのこについても平成25年生産量は増加しているが、出荷管理の徹底を図るなどした結果、把握量が増えたことが主な要因と思われる。

なお、平成25年10月23日に5市町全域で出荷制限・出荷自粛が解除されたことや、たけのこの単価（H24:188円/kg→H25:338/kg）が回復していることから、今後、たけのこの生産量は増加する可能性がある。

出荷制限中の市町（平成26年3月31日現在）

・原木しいたけ（露地栽培）

我孫子市（H23.10.11出荷制限～）、君津市（H23.10.11出荷制限～）、流山市（H23.11.18出荷制限～）、佐倉市（H24.12.22出荷制限～）、印西市（H24.2.23出荷制限～）、白井市（H24.4.10出荷制限～）、千葉市（H24.4.18出荷制限～）、八千代市（H24.4.18出荷制限～）、山武市（H24.5.16出荷制限～H26.3.19一部解除）、富津市（H24.11.14出荷制限～）

・原木しいたけ（施設栽培）

山武市（H24.5.16出荷制限～H26.3.19一部解除）、富津市（H24.11.14出荷制限～）、君津市（H24.12.14～）

・たけのこ

我孫子市（H24.4.6～）、栄町（H24.4.6～）、柏市（H24.4.11～）、白井市（H24.4.11～）

出荷制限解除済の市町（平成26年3月31日現在）

木更津市（H24.4.5出荷制限～H25.10.23解除）、市原市（H24.4.5出荷制限～H25.10.23解除）、八千代市（H24.4.11出荷制限～H25.10.23解除）、船橋市（H24.4.12出荷制限～H25.10.23解除）、芝山町（H24.4.18出荷制限～H25.10.23解除）

なお、原木しいたけの出荷制限は、露地栽培と施設栽培で区分されているが、統計上の区分はない。